

# 立命館経済學

第 34 卷 第 1 号

1985年4月

---

## 内 容

### 論 說

- 現代産業合理化論序説(1)……………三 好 正 已 1  
IBM社の組織変革(9・完)……………坂 本 和 一 23

### 研 究

- 商業資本の下における「生きている矛盾」の  
展開形態について……………西 原 誠 司 64

### 紹 介

- 服部文男著『マルクス主義の形成』について……………岡 崎 栄 松 94

### 翻 訳

- M. ブラウンリッジ, M. A. グレイグ著  
『観光業と地域開発』……………森 田 優 己 117

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第33巻・第5号

論 説

- 資本輸出の諸問題について……………岩 田 勝 雄  
「社会主義経済と国家」にかんする覚書（中の2）……………芦 田 文 夫  
——「経済的メカニズム論」とのかかわりで——

研 究

- 貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金……………竹 味 能 成

資 料

- 日本資本主義確立期の資本家名簿（5）……………後 藤 靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第33巻・第6号

- 山田邦臣先生をお送りする言葉……………清 水 貞 俊  
寄与度・寄与率の理論と応用……………関 彌 三 郎  
近代経済学における日常性と科学性……………鈴 木 登  
——その普遍性・客観性・実証性をめぐっての素描——  
Stagnation 仮説の検討……………甲 賀 光 秀  
寡占部門の投資行動規制による景気安定化について……………北 野 正 一  
ケインズ経済学の理論的發展……………松 川 周 二  
——その若干の予備的考察——  
構造変化と政策効果……………山 田 彌  
——二つの計量モデルによるシミュレーション分析——  
途上国経済援助による世界経済活性化の  
可能性について……………本 田 豊  
日本における政府短期証券市場の現状と展望……………河 野 快 晴

発行所 立命館大学経済学会